

# FUKUUCHI

Public  
Relations

No.84  
December

広報ふくち



出会う前から「おもてなし」は始まる。  
互いに心通えば、喜びもこだまする。  
時は今、人を招き迎える町へ——

特集

おもてなし

2012  
12



人の心と手によって磨かれてきた「おもてなし」の空間がある

# 心映の景色



1 2 およそ40本ものもみじが彩る庭園、石段や池に落ち葉がこぼれる光景は、この時期ならではの風情。紅葉に色づいた錦の波と深緑のコントラストはまさに絶景。3 屋内からゆっくりと流れる時間を、色と音と肌で満喫。4 しっとりとした落ち着いた雰囲気を感じ出す杉ゴケや地ゴケ、敷き詰められた緑が侘び寂びの幽玄な空間を静かに演出します。

↑ 植栽や池、敷石など、細部まで綿密な計算のもとに配置されている無造庵の庭園。そこには時代背景や思想なども反映され、訪れる人は空間と対話するように、やすらぎのひとつときを実感します。

人は日常では得難い場面でも感動を覚えます。それは初めて出会う景色であったり、さりげない優しさであったり…。それらの多くは人の手や想いによって訪れる人への配慮が幾重にも施されています。その根底に「おもてなしの心」が宿っているのです。

## 積み重なる想いから生まれる「おもてなし」

そこは思わず、ため息をもらさずにはいられない空間でした。はるか昔、上野焼開祖・尊楷も居たと伝わる場所。向かいには皿山本窯の古窯跡、上段には福智中宮に続く参道、傍らには中世の城跡…。紅葉に彩られた無造庵が由緒ある石垣の上に佇んでいました。「おもてなしの心」をキーワードに、観光のまちづくりを進めている福智町。そこで目指してゆくホスピタリティ（おもてなしの心）の醸成は、ただ相手が満足するだけでなく、その喜びが返ってくることで幸せを感じるという相互関係です。こうしたつながりは、観光という一面だけでなく、地域社会生活での基盤となるもの。わたしたち一人ひとりが「おもてなしの心」を持って行動することが、豊かな人間関係を築くと共に活力ある地域づくりを進めていく源となります。

## 礼法の本流が息づく

室町時代から綿々と伝わる「小笠原源流礼法」。上野焼を創始した細川家にかわって小倉城に入城した小笠原家に受け継がれてきた礼法で、わが国では現存最古とも言われています。その総師範として全国で名を馳せる菊谷ミツエさん（赤池）は、茶道でもその道を大成。国外でも日本古来の文化を広め、その重要性を説いてきました。

「受け継がれている礼法の根底は相手に対する『思いやりの心』です。相手を察し、気遣う心。その心を時と所と場にふさわしく、かつ美しく表現するのが最高の礼法と説明する菊谷さん。そこに会する人たちにとって、いかに最高の空間や舞台が演出できるか。あらゆることに心を配ります」と、86を迎えた今も美しい所作で客人をもてなします。時代や形は変わっても、おもてなしでの「相手を大切に思う心」は決して変わらない。普遍であり不変の「心」が、この地に息づいています。



小笠原流礼法 総師範 菊谷 ミツエさん



無造庵 熊谷 無造さん

このさりげない「おもてなしの心」が根付いているのが、藩主の器を作り続けた「御用窯」として名高い上野焼窯元。中でも風情ある庭園を背景に、卓越した技と誇りを受け継ぐ熊谷無造さんは「お客様に喜びを感じていただく配慮は、客商売を営む上で備えるべき当たり前感覚。そのため準備や演出は、どんな場面でも手を抜かない」と力を込めます。気の遠くなるほどの年月と、そこにかけられた「想い」や「手」。それらが重なり形づくった見事な回遊式庭園は、花木にとどまらず陽光や風さえも「おもてなし」の仕草に感じられるのです。

## 礼法に習って茶室へ



↑ 席入の合図を待つ「待合」と呼ばれる控室で待機。庭のしつらえや季節の草木の様子から、その意匠を感じ取ります。飛び石や敷石がある場合は、石づたいに茶席へ向かいます。



↑ 入室したら、亭主が来る前に掛物や花入、お香や香合、茶道具などをじっくり拝見。名品であるほどその背景に物語が隠されています。そんな亭主との会話も楽しみの一つ。



↑ 座席の右側が上席になるため、茶碗の正面を右に避けてお茶をいただきます。1度ではなく何度かに分けて飲み、最後は「すっ」と残りを全て吸いきる気持ちで飲みきります。

※小笠原流礼法に習って説明、主だった作法だけを紹介します。



魅力を伝え喜びを共有する福智スタイルの「おもてなし」

# 響合う幸せ



ただ迎えるだけでなく、まちの魅力を伝える…。  
実際におこなって見た「観光モニターツアー」から、これまでよりさらに一歩進んだ「福智ならではの」「おもてなし」の姿が見えてきました。

## 初の観光ガイドで学ぶ

ただ目の前の人を思いやるだけでなく、  
まずは、せっかく訪れた人に町の魅力を  
伝え、感じてもらうこそ、心から満足  
いただけるおもてなし。そのためにはま  
ず町の魅力を知り、いかに伝え、喜んで  
いただけるかがポイントになります。そ  
んな仕組みづくりのきっかけとして本年  
度から取り組んでいる「観光ガイド養成  
講座」では、大分県豊後高田市の藤原ち  
ず子さんをお招きして、そのノウハウを  
習得。農林水産省の助成を受け、実際  
に観光コースを設定し、11月24日にモ  
ニターツアーを実施しました。



国東半島観光案内人  
藤原 ちず子さん

藤原さんは豊後高田を「昭和の町」と  
して年間40万人が訪れる観光地へと変  
ぼうさせた案内人。地元の人や風土を生  
かした観光地づくりを応援しています。

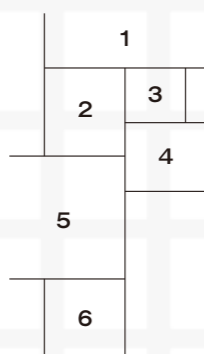
「観光客は現地での人とのふれあひも  
思い出にします。福智は観光資源だけ  
でなく、豊かな風土に育まれた人材がた  
くさんいます。ぜひその方々の魅力を生  
かしていただきたい」と目を輝かせます。



福智町観光ガイド  
澤田 寿代さん

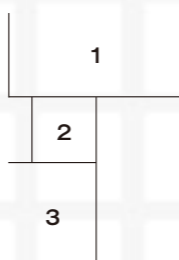
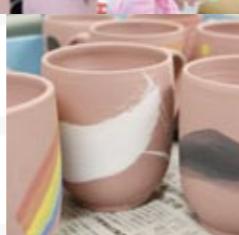
ツアーでは、地域交流を行っているT  
OTO(北九州市)から45人がモニター  
で来町。初ガイドでもてなした澤田寿  
代さん(赤池)は「堅苦しい歴史ではな  
く、資料にない情報や雑学を盛り込ん  
で説明しました。最後にお礼の言葉を  
もらったとき、何とも言えない喜びを感  
じました」と、直後の感想を語りました。

観光の目的は単に「見る、泊まる旅」  
から、風土を味わう「暮らすような旅」へ  
と変化。グリーンツーリズムやエコー  
リズム、ヘルスツーリズムなど、その地  
にしかない新しい旅(ニューツーリズム)が  
求められています。幸い福智には自然や  
文化、温泉などの資源も豊富で、多彩な  
展開が可能です。ここに人の「おもてな  
しの心」が加われば、魅力はきっと倍増  
するはず。そして、もてなす側にも与え  
た喜びや満足の気持ちが返ってきます。  
本年度は、農家民泊のモデル実施も行  
い、さらに深く「福智スタイル」の「おも  
てなし」のカタチが研究される予定です。



### ツアー① 福智パワースポット ウォーキング

【コース行程】▶血山本窯跡と藩主  
ゆかりの屋敷跡を見学▶①熊谷  
無造窯で庭園と古上野鑑賞▶②  
福泉坊▶③中宮参道(見返坂)▶  
④福智中宮▶⑤白糸の滝▶⑥岩  
屋権現で梵字や大杉など密教と  
自然に触れる▶ふじ湯の里で温泉  
入浴。「方城すいとん御膳」と「ふ  
くち☆リッチジェラート」に舌鼓。



### ツアー② 上野焼絵付と 興国寺座禅体験

【コース行程】▶ふれあい交流会  
館で協奏の庭と上野焼を鑑賞▶  
①上野焼絵付体験②力作の数々  
▶③興国寺で尊氏伝説と寺宝に  
触れ座禅体験▶ピストロみな川  
で上野焼フレンチランチを堪能  
▶ふじ湯の里で温泉入浴。「ふ  
くち☆リッチジェラート」に舌鼓。



### さらに高まった「福智」のイメージ



TOTO 株式会社  
浜田 義典さん

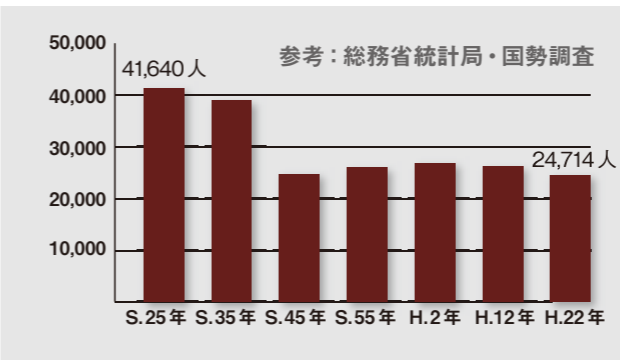
今回「パワースポットウォーキング」に参加しました。観光ガイドから、地元の人にも知らないような情報を聞きながら、福智の伝統や文化、自然、食の魅力を味わうことができ、福智のイメージがさらに高まりました。今日は残念ながら悪天候でしたが、雨の中でも福智の魅力が十分に伝わる素敵なツアーで、特に雨にしたたる紅葉は絶景でした。次はぜひプライベートで訪れ、福智の魅力を余すことなく満喫したいです。



## 手さぐりの挑戦の一步

かつて日本経済の原動力として石炭を産出し、全国出炭鉱の半数以上を占めていた筑豊地域。全国各地から優秀な人材や一流の物、最先端の文化が集まり、炭鉱の熱気と活気に満ちあふれました。その一翼を担った福智町も同様。人を呼び込む必要もなく、労働人口が押し寄せ、人を迎えるというより、むしろお客様として出向く立場が定着していきます。やがて閉山後は自分たちの生活を守ることが優先され、観光どころではなくなっていました。

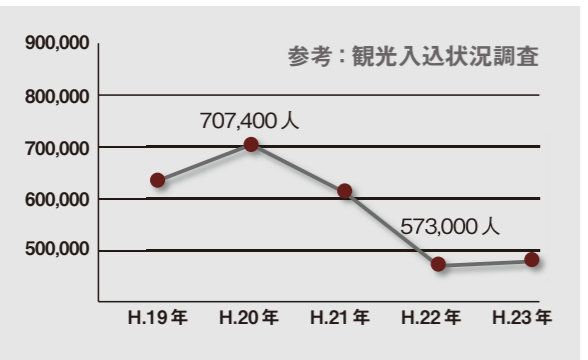
今はまだ観光地とはかけ離れた風土の町で、これから最も求められる意識、それが「おもてなしの心」の醸成です。



↑資料では、旧産炭地の町の人口は昭和25年に最大41,640人となり、炭鉱景気でにぎわいました。その後のエネルギー革命による炭鉱閉山で人口は半減、環境は激変してしまいました。

## 果てしなく広がる効果

ではなぜいま観光なのか。それは、その効果が幅広く地域課題に関わっているからです。例でいえば「PRのために町の良さを知り魅力を磨く」→「人を招くために町をキレイにする」→「ふるさとに誇りを持つ」→「人々が訪れ交流が生まれる」→「生活と経済が活性化」→「地域ブランド力が高まる」→「定住人口が増加」→「雇用が生まれる」→「税収が増える」→「生活に反映される」というサイクルにつながります。さらに「地産地消の促進」「農商工連携」「地域ブランド創出」「伝統工芸の振興」「文化の伝承」「環境と景観の保全」「生き甲斐づくり」など、その影響は多岐にわたります。



↑福智町への観光入込客の推移。近年は温泉施設の入客数が大きく影響しています。観光地としてはほど遠い数ですが、今後は数をいかに伸ばし、経済効果を高められるかが課題。

とっても楽で、着心地良くて、リラックスできる。だけど人前に出るのは少し気が進まない。今までの町はこんな感じてした...

## 普段着から



やはり第一印象は、身だしなみから。相手への礼が伝わり、心地よく接することができる。これからの町は「見た目」+「意識の転換」が求められます。

## お洒落着へ



田川まるごと EXPO 2012  
10.20(水) - 11.25(水)

### 広域連携でおもてなし

福智町を含む8市町村と福岡県が連携して取り組む「田川まるごと博物館プロジェクト」。期間限定で体験プログラムを盛り込んだ「田川まるごとEXPO」を初めて開催しました。「田川地域にあれば博物館を訪れたように、魅力ある地域資源に触れることができる...。そんなイメージを発信し、都市圏からの集客を図っています。その基盤として、おもてなしの心の醸成は欠かせません」と、担当する中島佳奈美さんは現状を語ります。現在「おもてなし講座」が企画され、本年度中に福智町で開催される予定です。



福岡県 広域地域振興課 中島 佳奈美 さん

### まちへの誇りが「おもてなしの心」を育む

炭鉱の時代は、長い歴史から見てわずか百年間の出来事。それ以前は福智修験や上野焼などの文化や技術が交差し、遠方からも人が訪れる場所であったと考えられます。本来は、かなり昔から観光地としての素地があったと言えるのではないのでしょうか。しかし、残念ながら観光地としての意識は醸成されていません。例えば町外の人から地域の魅力を訪ねられたとき「うちの町には何もないから」と多くが答えがち。そんなときに町の良いところを自信を持って伝えることができる。つまり町のいいところを認識して誇りを持つ。そんな意識改革が必要です。その誇りこそが「おもてなしの心」につながり、ホスピタリティを育むのだと思います。



福智町まちづくり委員会 委員長 森山 沾一 福岡県立大学 副学長





福智町出身の作曲家・河村光陽を顕彰する「協奏の庭」を背景に、音楽家たちが素敵な生演奏やコーラスを披露。会場に心地よさが広がる。



期間中は場内で特別展「福智 colors」も開催。町内に点在するすべての窯元の作品が一堂に会したのは、今回が初めて。各窯元が「福智」を色で表現し、福智町出身の書家・吉川晶先生の書が壁面を彩った。



地元の旬の農産物が並ぶことで人気の「上野の里ふれあい市」。10周年を迎えた感謝を込め、20日と21日に餅まきを開催。



上野焼協同組合加盟の13窯元が、常時作品を展示販売している上野焼陶芸館。期間中は、匠の技が光る秋の新作がズラリと並び、陶芸ファンたちを魅了した。



21日にはご当地グルメ「方城すいとん」が500食限定で振る舞われた。スタッフは福智山がデザインされた福智ブランドTシャツで町をPR。



期間中の土日は、福智の魅力を求める多くの人が、販売開始前から長蛇の列を作った。駐車場では県外ナンバーも多く見られ、9日間の総来場者は延べ1万5千人。

特集 おもてなし



坂田 順さん  
亡き夫・政博さんがヤマの象徴を店名に掲げた「焼肉ポタ山」。貴重な炭鉱写真が店内に並ぶ。



水口 耕一さん・沙織さん  
夫婦で「耕窯」を営む。耕一さんは北九州市出身、沙織さんは佐賀県出身。6年前から定住。

「地域への恩返しにと出店しました。初めてのお客様と直に接することで、気付かされたことも多くありました。改めて感じたのが、やはり、心が何より大切だということ。思いやりの気持ちがないと、商売は成り立ちません。何が喜ばれるのか、より満足していただくために何が必要か…そんな意見を出し合うことも楽しいんです」。

6年前に上野に移り住み「耕窯」を営んでいる水口耕一さん・沙織さん夫婦、今回初めて秋の窯開きに参加しました。「以前から上野の風景は魅力的でした

が、知人の紹介で移住した当初は、よそ者のわたしたちが、上野の里で上野焼でない器を作ることには不安を感じていました。しかし、開業直後から近所が気に掛けてくれて、温かいおもてなしに感動しました。地域が誇れる要素は「物」だけでなく「人」もまさにそうだと実感しました」と水口さん。今後の催しの展開にも期待を高めています。

資源と素材を生かし、新たな視点で「おもてなし」を考え、さらなる魅力を生み出そうとした今回のイベント。力を合わせて行動したことで交流や絆が生まれ「来客をもてなす態勢」も育まれました。このような輪が広がれば、観光地としての基盤も固まっていきます。

## 魅力を凝縮したイベントで再認識し、創意工夫が育んだ「おもてなしの心」。協力と実働でもてなしの輪が広がる。

福智町には、豊かな自然の中で育まれた「食」と福智町が誇る「上野焼」、童謡作曲家・河村光陽の生誕地として醸成された「音楽」があります。そんな福智ならではの要素を凝縮した、福智でしか実現できないイベント「フクチ・フアインド・フェスティバル」が、10月20日～28日、上野の里ふれあい交流会館を舞台として、盛大に開催されました。

福智町には、豊かな自然の中で育まれた「食」と福智町が誇る「上野焼」、童謡作曲家・河村光陽の生誕地として醸成された「音楽」があります。そんな福智ならではの要素を凝縮した、福智でしか実現できないイベント「フクチ・フアインド・フェスティバル」が、10月20日～28日、上野の里ふれあい交流会館を舞台として、盛大に開催されました。

福岡県の助成事業で実施され、12の団体・店舗で組織された「福智町地域観光戦略イベント実行委員会」が主催。青柳一夫委員長は、開会式で「町内外の多くの人に、福智町の良さを発見してもらいたい」と期待を語りました。

町の良さが解ると、町への愛着が生まれます。そうして育まれた「郷土愛」は、いわば「おもてなしの心」の原点。ふるさとを誇りに思えてこそ、来訪者をあたたかく迎え、地域の良さを伝えたいという気持ちにもつながるはずです。

期間中、町外からも多くの人が福智町に注目。延べ1万5千人を迎えた経験は、主催する側にとっても大きな収穫となり、観光の町としての可能性を肌で感じられた9日間となりました。

## ならではの魅力が融合



ずっと近くにあるものほど、大切さに気付きにくいもの。しかし「人を呼び込む力を秘めた財産」は、実はこの町にも多く眠っているのです。その魅力にわたしたちが気付き、理解することで、「おもてなし」という新たな魅力が創られます。

# 魅力の創出

福智らしさ輝く魅力の融合で再発見した郷土の誇り

例年「春の陶器まつり」と「秋の窯開き」の際に13窯元で開催されている空くじなしのスタンプラリー。今回は町内の全27窯元が協力し範囲も拡大。その分、豪華な景品が数多く並んだ。



フル回転のゲスト店舗前など多くの行列ができた会場。設営や撤収、駐車場整理やバス運行など、期間中200人のスタッフが運営を支えた。



28日限定で福智妄想FM「慶子の部屋」を開局。福智町出身のおおぎけいこさんが、FM放送番組さながらの痛快的トークで会場を盛り上げた。



アサヒビールが協賛したノンアルコール&ビールと、それに合う「バリウマ」な逸品がテーマの28日は、地元18店と、県外から宇都宮餃子(栃木)、たこやき元祖津屋(大阪)、からつバーガー(佐賀)、中津からあげもり山(大分)が集結。上野焼ビアカップや福智ブランドの「ふくち☆リッチジェラート」など、完売が続出した。



27日の茶会は、茶陶として名高い上野焼の器でおもてなし。菓子は博多の名店「チョコレートショップ」の都城未鈴さん(福智町出身)特製のレモン風味の生チョコ。





おもてなしの風土づくりはまず「あいさつ」から

# 通う心で

心を伝えれば、心で返ってくる——。こだまのように「通い合う心」が、おもてなしの風土を育んでいきます。

## 日本一の取り組みへ

あいさつはコミュニケーションのはじまり。初めて会う人ともすんなり心を通わすことができ魔法のような言葉です。相手への思いやりの気持ちが伝わるあいさつは、かけたほうも清々しい気持ちになります。

相手に不快感を与えないルールが「マナー」ですが、「ホスピタリティ（おもてなしの心）」には、さらに「心」が加わります。人をおもてなす際には、やはり心を通わせることが大切。そんなとき「心伝わるあいさつ」ができれば、相手は思いやりの気持ちを受け止めることができます。

福智町では、そんな素敵なおいさつが日常になるよう「ホスピタリティあふれる町」を目指して



「あいさつがつくる ふれあい心の輪」をテーマに、町内8か所の公共施設で「あいさつ日本一の町」を呼びかけています。

「日本一あいさつができる町」を目標に掲げ、本年度から広く呼びかけています。

あいさつが人と人をつなげ、家庭や地域でも信頼関係が深まり、やがて訪れる人への「おもてなしの心」を育んでいく。言葉だけでなく心をのせて、投げかけた後に返ってくる「小さな喜び」

を日々かみしめられる町になれば、より心豊かな生活を送ることができそうです。

「おもてなしの風土づくり」の「一歩はまず「あいさつ」から。少しでも意識して、心伝わる「あいさつ」を投げかけてみてください。きつと、いつもと違う表情や喜びに出会えることでしょう。

## 「あいさつ日本一の町」を目指して

**町** 活性化に向けた「観光のまちづくり」が必要不可欠なのは、やはり「おもてなしの心」を共有することだと思っています。来町者への接し方が悪ければ、福智町の印象や観光資源の魅力もゼロになってしまいます。逆に、元気なあいさつや心通じ合うふれあいがあれば、観光目的だけでなく「福智の人」に会いに来ていただけます。わたしたちは同じ「物」を何度も見ようとは思いませんが、魅力ある「人」に出会えば、また会いたいと思うもの。そんな「おもてなしの風土」を培うため「心伝わるあいさつ」が浸透していくよう、これからも「日本一あいさつのできる町」を目指していきます。



浦田 弘二 町長

## 育まれていく風土

「おはようございます」。朝のおとずれを歓喜するように、元気な声が伊方小の校舎にこだまします。5月から「あいさつ日本一の学校」をテーマに取り組んでいる伊方小の「あいさつ運動」。児童会の5・6年生が、登校する一人ひとりとおいさつを交わします。

「当初は牽引しているつもりでしたが、今では子どもたちの元気に押されるほど。あいさつの力と成長の早さに驚かされます」と、井上憲治校長は校内の雰囲気の変化を実感していました。

一方で、地域からは「児童のあいさつに元気をもらった」とお礼の言葉が届けられ、その効果は校舎の外へも広がっています。

意識は「朝夕で変わるものではなく、風土は長い年月をかけて宿ります。「観光のまち」を目指して歩き始めたばかりの福智町にとって「おもてなしの心」の醸成は、息の長い取り組みになつていくでしょう。

人が「訪れてみたいまち」は、そこに住む人々にとっても「居心地のいいまち」であり「誇れるまち」。だからこそ「魅力あるまち」

6月に児童代表が「あいさつ日本一の学校」に向けた推進を町長室で宣言した伊方小。学校だけでなく保護者とも一体となって、取り組みを進めています。



を目指すことは、わたしたちの生活の豊かさにつながる、意義深く、価値ある取り組みです。

わたしたちが「観光地」をイメージしたとき、まるで福智とは別次元のような感覚を持ちますが、何も難しく考えることはなく、ただ一人ひとりが「おもてなし」の意識を少しずつ深め、身近な行動が習慣になれば、いつしか「おもてなしの風土」が育まれるはず。今日から、今からでも始めてみませんか。心通う「あいさつ」を…

特集 おもてなし おわり



校長先生にも元気に朝のあいさつ。目線と共に心の距離も近づきます。



福智の原風景、広谷地区からの眺め



# Discover Omotenashi Ver.ふくち オモテナシ通信

発行所  
広報ふくち  
〒822-1292  
福岡県田川郡福智町  
金田937-2  
福智町役場 総務課

福智ではいま「グルメ」や「アート」など、それぞれの魅力が感動を与え「おもてなし」につながる活動が展開されています。そんな気になる話題や最新情報をお届けします！

【掲載内容のお問い合わせ先】  
福智町役場  
まちづくり総合政策課  
政策推進係  
☎0947-22-7766



ゴットンアートマジックの「居酒屋 晶」で対応する吉川晶さん、書で表現した芸術空間が期間限定で実現。

## 濃厚でちよつと贅沢なアイス

## 福智素材で魅了する新特産品

### ふくち☆リッチジェラート



4つの味「莓みるく」「莓シャーベット」「黒豆きなこ」「いちじくの赤ワイン煮」

## 「日王の湯」と「ふじ湯の里」で先行販売



1本の木から素材が生まれるイメージのデザイン

10月の「フクチ・ファインド・フェスティバル」で初披露された「ふくち☆リッチジェラート」。その好評とお求めの声を受けて、早くも町内での販売が決まりました。  
このジェラート(氷菓アイス)は、地域ブランドと特産品の創出を目的に、推進委員会が開発。福岡県の「地域の魅力を

「あまおう(いちご)」や「とよみつひめ(いちじく)」といったブランド品種の果実や炒って香ばしさを出した「黒豆きな粉」など、福智産にこだわった4種類でデビュー。



磨く観光地づくりモデル事業」の助成を受け、研究されました。規格外品の活用や旬素材での豊富な種類の展開、幅広い世代の支持の高さなど、豊富なメリットを誇ります。  
濃厚な味が特徴の「リッチジェラート」は、まず町内の「日王の湯」と「ふじ湯の里(要入館料)」の温泉施設で先行販売(1個250円)。福智の自慢になり得る「新たな特産品」が売り出されます。



吉川晶さんの書によるブランドロゴ

世界記憶遺産への登録で知られる炭坑記録画の絵師・山本兵衛の原画と現代美術が共演した「ゴットンアートマジック」。10月末から1か月間にわたって田川市を中心に開催されたこのイベントに、福智町のアーティストが参加しました。  
「福智ブランド」の書も手がけた書家の吉川晶さん(赤池)が「田川ごとうじ銀天街」の空き店舗で作品を展示。「居酒屋 晶」

の看板を掲げ、店内装飾やラベルのボトルなどを心映した書で彩りました。初めて「おかみさん」になって来場者をもてなした吉川さんは「お客さんとの間や距離で違った空気が漂う店内。おもてなしは一方的では成り立たないことを実感しました」と、



陶芸では渡仁氏や水口耕一氏(上野)も参加。写真は江戸期から伝わる上野焼を再現した渡氏作「三つ足の蛙」。

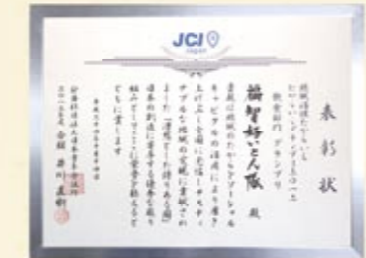
交流とアートの融合を演出した感想を語りました。

## もてなしのアート空間演出

## 方城すいとん

### 全国規模「地域活性化たからいち」で表彰 飲食部門 70団体中、第1位に輝く

三菱方城炭鉱で育まれ、学校給食のメニューを経て、福智町のご当地グルメに位置づけられた「方城すいとん」が、10月14日に北九州市で開催された日本青年会議所主催の「地域活性化たからいち」で表彰されました。



全国各地の地域のためが集うイベントに、ご当地グルメで町のPRを展開している「福智好いとん隊」が出演。味もさ

ることながら、販売の姿勢や将来性、地域の風土や文化への結びつき、食進会など他団体との連携が高く評価され、70団体の出展があった飲食部門の中で、見事第1位に輝きました。今後「福智名物」として、さらなる町のPRと地域活性化に期待がかかります。



福智産の旬素材が自慢のすいとん



### 福智町の観光大使 字語リエッセイ作品集の貴重な直筆

## IKKOさん書の大作寄贈

## 炭坑ゆかりの地域活性化活動にエール

福智町観光大使で美作家のIKKOさんが、11月21日に発売したばかりの自身の書道作品集「道-IKKOの字語リエッセイ」(芸術新聞社)から、掲載作品の「炭坑」の書を「福智好いとん隊」に寄贈しました。

「地域活性化たからいち」での全国表彰へのお祝いと「方城すいとん」が炭坑の時代に生まれたことにちなんでIKKOさん本人が著書から寄贈。故郷の地域おこし活動に対し、「ふるさと」をテーマにした章から、最もふさわしい直筆が選択されました。寄贈元となる著書は、IKKOさんが人生

を振り返り、その道程を筆に託して書に表した渾身の一冊。秘蔵写真と共に約60点が収録された「心ゆさぶられる魂の字語り」となっています。  
なお、今回寄贈された書は、福智町役場1階のロビーに展示していますので、ぜひご覧ください。



寄贈された迫力ある「炭坑」の書。「道-IKKOの字語リエッセイ」は芸術新聞社より1890円で発売中



## 「ふじ湯」で方城すいとん販売決定

ご当地グルメとして店舗メニュー化が待たれていた「方城すいとん」の「ふじ湯の里」での販売が決まりました。ポリュームある御膳や単品も販売され、今後の店舗展開の先駆けとして位置づけられています。



「ふじ湯の里」でのメニュー化が決まった「方城すいとん御膳(800円)」すいとんの単品も販売

## 上野焼NHK全国放送



11月8日に全国放送で筑豊地域が紹介されたNHK番組「あさいち」で、400年以上の歴史を誇る「上野焼」が取り上げられました。お笑いタレントで俳優の石井正則さん(アリオキリギリス)が秋の窯開き中の上野を訪問。その伝統と技の魅力が広く発信されました。

上野を訪れ波瀾でロク口の作陶体験に真剣な表情で挑戦する石井正則さん左



# 快進

## My Town Athlete 福智のアスリート

さらなる高みを目指し、技と心を磨き続ける町のアスリートたち。今回、大舞台で成果を発揮し、数々の栄光を手に入れました。ここで選手たちの活躍や大会の結果を紹介します。(※敬称略)

Fukuoka SoftBank Hawks Junior



原田琉輝 (金田小6年)

目指すはもちろん優勝です！ チームのキャプテンとして、全力で立ち向かいます。

### 若鷹軍団の一員として、北の空での活躍を誓う！

金田ジュニアクラブに所属する原田流輝くんと古屋大地くんが、ソフトバンクホークスジュニアに選出されました。2人は450人の中から選考会を経て、18人の選抜メンバーに合格。10月から元プロ野球選手の指揮の下で、毎週土・日曜日に練習を行っています。福智町から飛び立つ若鷹たちは、12月に札幌ドームで行われる、NPB 12球団ジュニアトーナメントENEOSCUP2012で他球団のジュニアチームと対戦します。

気持ちで相手に負けないようにして、札幌のマウンドで堂々と投げてください！



古屋大地 (金田小6年)

Tagawachiku Tyugakkou Sinjinsen

### 日々の練習の成果を十二分に発揮！

10月に田川地区の各運動部の新人大会が行われ、町内中学校の部活動生が練習の成果を発揮し好成績を収めました。



金田中 陸上競技部  
女子100m **優勝**  
古屋愛(大会新)  
走り幅跳び **優勝**  
古屋愛(大会新)  
400mリレー **優勝**  
亀田彩香・古屋愛  
嶋野樺恋・井上彩

方城中 男子バスケットボール部



**優勝**

赤池中 男女バドミントン部



**優勝**

Fukuoka Kenmin Taiiku Taikai

### 「田川」を背負った町のアスリートが、県大会で大暴れ！

県体育協会主催の「スポーツフェスタ・ふくおか」第55回福岡県民体育の夏季・秋季大会が8月から10月にかけて県内各地で行われ、町のアスリートが好成績を収めました。地区大会を勝ち進んだ選手たちは「田川」を背負い、県大会の大舞台に挑戦。ここでは、各大会で優勝や入賞を果たした選手たちを写真とともに紹介します。

#### 水泳 50m (自由形・バタフライ) **優勝**



【60～64歳の部】  
自由形  
梶原信子  
バタフライ(大会新)  
梶原信子

#### バドミントン団体戦 **優勝**

【出場選手】  
中村亮二・松永紘征  
中村竜也・大井多一  
稲垣寿一



※選抜のため町民のみ掲載

#### 女子バスケットボール **優勝**



【出場選手】  
内野望・岡野佳  
山内春奈  
マネージャー  
石谷恵津子

※選抜のため町民のみ掲載

#### 弓道団体戦 女子 **準優勝**・男子 **3位**

【出場選手】  
吉田啓子・佐藤泉  
吉田千代美  
吉田光蔵・岡田宗隆



※選抜のため町民のみ掲載

### 平成24年度成人式



ホームタウンで一生に一度の思い出を  
仲間や恩師との再会を満喫してください  
懐かしい顔がそろい、当時の思い出がよみがえる「福智町成人式」が次のとおり開催されます。人生の大きな節目をふるさとの仲間や恩師と喜び合い、ぜひ思い出話に花を咲かせてください。対象者には案内状を送付します。昨年度から午後からの開催となっていますので、お間違えのないようご注意ください。

日時 ▶ 平成25年1月13日(日) 14:00 開式  
※受付は13:00から行います

場所 ▶ 福智町地域交流センター

対象 ▶ 平成4年4月2日～平成5年4月1日生まれ  
問 福智町教育委員会 社会教育係 ☎28-2046

adult ceremony

## インフォメーション & ニュース in FUKUCHI

### gender equality

男女が性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会を目指して、福智町男女共同参画推進条例が平成21年に制定されました。今年3月には条例に基づく基本計画が策定され、4月から5か年計画で推進を図っています。その具体的な取り組みの一つとして、中央公民館図書室(赤池)に男女共同参画図書コーナーを設置。子育てや労働、健康に関する書物のなど、約40冊をそろえています。今後、ますますの充実を図りますので、本を通じて男女共同参画への理解を深めてみませんか。



男性にもお勧めの本を取りそろえています

中央公民館に男女共同参画図書コーナー設置

### tax information

滞納者から差押えた財産を、田川県税事務所と田川地区の5市町合同で公売する「田川地区合同公売会」が、11月17日に田川市民会館で行われました。当日出品された150点のうち、58点が落札され、売り上げ金額は約51万円。福智町からもゲーム機やプリンター、陶器など76点が出品され、その大半に買い手がつき、売却金額は滞納町税の解消にあてられました。滞納すれば、大切な財産が差押えられます。税は必ず納期限内に納付してください。



お目当ての品を求めてにぎわう公売会場

田川地区合同公売会

税滞納者の差押え物品を田川地区合同で販売

### 全国屈指の授業を考察



児童が自発的に勉強を楽しみ、考える芽を育むことをテーマにした「基幹学力研究会」の福岡大会が10月20日に市場小で開かれました。全国から約300人の先生が集った今回の大会では、筑波大学付属小学校教諭による公開授業などで、全国でも指折りの授業内容を研究。その後の協議会では、慣例化した授業を打破し、全国トップレベルの指導力を身につけようと、活発な意見が飛び交っていました。また、大勢の先生が見る中で公開授業を受けた子どもたちは終始緊張している様子でしたが、積極的に手を挙げ、この貴重な機会を有意義に過ごしていました。

pen class

男女が共に参画する社会を目指して

基幹学力研究会福岡大会



- ▶ 金田小学校 ☎22-0061 ▶ 上野小学校 ☎28-2133 ▶ 市場小学校 ☎28-2009 ▶ 伊方小学校 ☎22-0127
- ▶ 弁城小学校 ☎22-0129 ▶ 金田中学校 ☎22-0136 ▶ 赤池中学校 ☎28-2117 ▶ 方城中学校 ☎22-0237

スクールインフォメーション

学校からのお知らせ

SCHOOL INFO!



↑どうすれば保育園の子どもたちが喜んでくれるか、事前に話し合いながら、体験する生徒全員で試行錯誤を重ねて準備します。

来年度の1月21日・22日の2日間、弁城小学校の5年生8人は、保育士体験を行います。体験する保育園は、学校の近くにある第一保育園です。体験する生徒は、0歳児〜5歳児までの各クラスに担当割りを決めて活動する予定です。事前に遊び方などを計画してその日を迎えます。保育園の子どもたちの目の高さになって関わることの大切さに気づくことと思います。この体験を通して、働くことの大変さと喜びについて考えるいい機会になればと思っています。

▼保育士体験をします

弁城小学校



↑6年生への感謝の気持ちを込めた合奏や歌のプレゼント。胸にあるメダルは1年生が手作りしたメダル。感動の一日です。

▼6年生ありがとう

金田小学校

一年生の入学、分団登校のお世話、委員会活動や学校での仕事など、この一年、金田小学校のリーダーとしてがんばってくれた6年生たち。一年生から5年生までが感謝の気持ちをこめ、「6年生を送る会」を実施します。一人ひとりの在校生が6年生に感謝の気持ちで臨む姿、小学校生活の6年間で立派に成長した6年生の姿をお見せします。ぜひお越しください。

日時 平成25年2月28日(日)

場所 金田小学校体育館

5日間の職場体験「キャリア・スタート・ウィーク」

赤池中学校

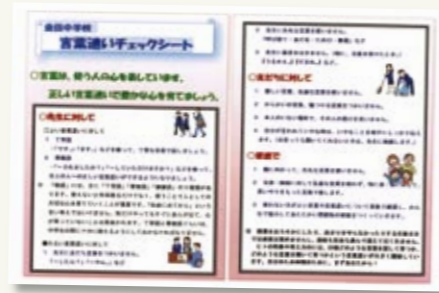
赤池中学校では、本校独自のカリキュラムとして、1年生の総合学習の時間を活用し、水に関する研究(水質調査など)を行っています。水質調査の仕方や遠賀川水辺館研修などを行い、その最後のまとめとして、彦山川に鮭の稚魚を放流する活動を行っています。これは、親子ふれあい行事とも兼ねていますので、保護者や地元のボランティアグループ「ひこさん川夢の会」と一緒に、川辺の清掃活動ののち、稚魚の放流を行います。鮭が成長して帰ってこられる美しい川なるようお願いを込め、今年度も3月のはじめに行う予定です。みなさんもぜひご参加ください。



←ただ鮭の稚魚を放流するのではなく、遠賀川河川敷のごみを拾うことで、川の大切さや命の尊さを学びつつ、同時に社会マナーや環境保全の学習にもなります。

「PTA言葉遣いの取組」

金田中学校



←子どもたちや先生にアンケートを取り、その集約を校内に掲示することで、言葉遣いの意識づけを図っています。

今、子どもたちの言葉が乱れています。大人に対しても、お構いなしに汚い言葉を使おうとする子どもたち。子どもたちの生活の乱れの原因の一つは言葉遣いにあると考え、金田中学校PTAでは、「言葉遣い」についての取組を行っています。10月からスタートし、一年を通して取り組んでいます。「言葉遣いチェックシート」(上の写真)をPTAの役員・委員で各家庭をまわり、じかに呼びかけながら手渡しをするというコミュニケーションを大切に方法をとりました。まだ取り組み始めたばかりですが、これをきっかけに家庭ぐるみで言葉を見直す機会になってくれればと思っています。

思い出のメモリー集会

市場小学校



←みんなで短冊を飾り付けた後は、全学年がすばらしい歌や合奏を披露。最後は、6年生の発表で締めくくります。

3月1日に市場小学校で、「思い出のメモリー集会」を行います。今年も、保護者の皆さんはもちろんのこと、お世話になった方々も招待予定。そして、今まで集会活動など、中心となって企画・運営をしてきた6年生への感謝の気持ちを込めた集会にもなります。参加した全員の思い出に残る素晴らしい集会に、ぜひお越しください。

日時 平成25年3月1日(日)

場所 市場小学校体育館

ありがとう! 「6年生を送る会」

上野小学校

もうすぐ卒業する6年生に、委員会活動やクラブ活動や登下校など、お世話になったことへの感謝の気持ちを伝える「6年生を送る会」があります! 毎年、各学年から「6年生へのお礼のこぼれ」歌・演奏劇などを披露します。どの児童も、どの学年もお世話になった6年生への感謝の気持ちを込め、精一杯に練習の成果を表現し合う素晴らしい会です。子どもたちの生き生きとした姿をぜひご参観ください。

日時 平成25年2月24日(日)

場所 上野小学校体育館



←ステージ下の6年生に感謝の気持ちを込めて演奏します。緊張しながらも、全員が6年生に感謝の気持ちを伝えるために、一生懸命な姿がとても印象的です。

可愛い園児とともに一日を過ごす、3年生の保育実習が今年も行われました。実習を体験した生徒たちは、お兄ちゃんお姉ちゃんと呼びかけ、とても楽しかった。「また行きたい」と、感動して帰ってきます。保育所・保育園の園児や先生にも毎年楽しみにされています。園児と一緒に遊んだりお世話をしたりすることが、自分が役立っているという自己存在感を持ち、幼い子どもを理解して優しく接する気持ちや態度を養うことにつながります。今年度も、11月9日に、第一保育所・中央保育所・すずらん保育所・ぎんなん保育園の4カ所でお世話になりました。毎年ご協力ありがとうございます。



↑毎年さまざまな職場で仕事の厳しさややりがいを学びます。写真は中央保育所での体験の様子。

▼職場体験学習にご協力を

方城中学校



↑児童が自主的に企画運営した「雑巾がけ選手権大会」。子どもたちの応援に来てみませんか?

伊方小では、体力の向上を目指した取り組みの一環として、子どもたちの足腰を鍛えることを目的に、毎日の掃除時間だけでなく、体育の時間にも雑巾がけを行っています。「もっと雑巾がけが好きになってもらいたい」と、スポーツ委員会が「ぞうきんがけ選手権大会」を企画。第1回大会は一学期の終業式の日に行い、低学年(15m)と高学年(20m)の部に分かれて予選・決勝を行いました。現在も、毎日の掃除などにおいて子どもたちは雑巾がけを頑張っています。今回の「ぞうきんがけ選手権大会」は、来年2月に予定していますので、みなさんぜひお越しください。

▼「体力の向上」を目指して

伊方小学校



## 滞納

滞納額は約32億円

税金や使用料などで23年度までに納められなかった金額は約32億円で、前年度と比較し約7千万円の微減となっています。ただし、未だに30億円を超える滞納を解消するため、差し押さえや法的措置などの厳しい措置を行っていきます。

平成22年度までの主な滞納額	
町民税	1億1,815万円
固定資産税	1億7,559万円
軽自動車税	2,059万円
国民健康保険税	2億1,936万円
保育料	8,165万円
住宅等使用料	2億5,528万円
住宅管理料	448万円
学校給食費	4,328万円
住宅新築資金等貸付金	20億950万円
水道使用料	2億7,468万円

## 地方債(普通会計)

町の借金残高は約225億7千万円

年度を越えて元利を償還する借入金を「地方債」といいます。23年度末の残高は22年度から約2億7千万円増加し、約225億7千万円となっています。合併後順調に残高を減少させ続けていましたが、合併後初めて増加に転じました。今後も借金減少に向けて事業効果を十分検討し、慎重な地方債発行を行わなければなりません。



## 特別会計

国保会計と診療所会計の赤字が増大

特定の事業を行うために一般会計と分けて設置される特別会計では、国保が約8億2千万円、診療所が約3億円の赤字を出し、厳しい状況に直面しています。

区分	歳入	歳入歳出差引
住宅新築資金等貸与事業	1億9,716万円	5,240万円
国民健康保険	28億2,053万円	-8億1,507万円
後期高齢者医療	2億6,006万円	726万円
町立診療所事業	4億6,582万円	-2億9,608万円
田川郡町村公平委員会	115万円	45万円
事業会計	総収益	差引額
水道事業(収益的事業)	6億6,008万円	1億15,96万円

## 健全化判断比率・資金不足比率

早期健全化基準は全てクリア

健全化判断比率	福智町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率*1	(△)17.39%	13.85%	20.00%
連結実質赤字比率*2	(△)9.07%	18.85%	30.00%
実質公債費比率*3	14.4%	25.0%	35.0%
将来負担比率*4	(△)96.3%	350.0%	—

健全化判断比率	福智町	早期健全化基準	備考
資金不足比率*5	(△)95.6%	20.0%	水道企業会計での算定

※赤字が生じない場合は「—」で表示、参考値の黒字比率を(△)内に掲載。  
 \*1 普通会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率  
 \*2 すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率  
 \*3 借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度をみる比率  
 \*4 町が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度をみる比率  
 \*5 企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる比率

## 決算概要 行財政改革待ったなし

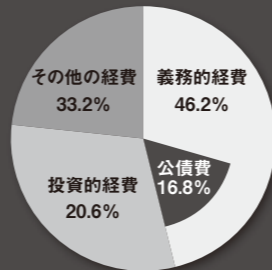
財政硬直慢性化からの脱却

一般会計の歳入額は162億5千万円、歳出額148億3千万円で翌年度に繰越すべき財源を除き、約12億8千万円の実質収支黒字となっています。ただし、前年度からの繰越金が約12億1千万円あることから、単年度の収支としては6千4百万円の黒字ということになります。この様に、前年度繰越金や基金の取り崩しで毎年度10億円前後の実質収支黒字を計上しているものの、財政力指数は全国最低水準、また財政構造の弾力性を測る経常収支比率は96.2%と、これも類似団体中の最高レベルにあり、財政硬直の慢性化からの脱却が昨年も増して急務な課題となっています。

## 一般会計歳出

歳出額は約148億3千万円

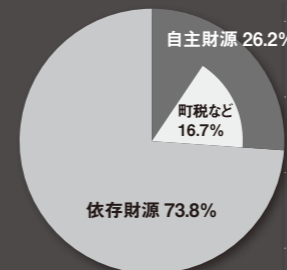
前年度に町が支出した一般会計の総額は148億3千万円です。これを性質別にみると、人件費・扶助費・公債費の「義務的経費」が68億6千万円で全体の46.2%、そのうち借金を返済する公債費は24億9千万円で16.8%となっています。また「投資的経費」は30億6千万円で全体の20.6%、そのうち普通建設事業費は前年度より1億8千万円増額の30億2千万円で、全体の20.4%を占めています。



## 一般会計歳入

歳入額は約162億5千万円

町に入った一般会計歳入額は162億5千万円でした。内訳は国、県に頼った依存財源が73.8%、町でまかなう自主財源が26.2%です。ただし自主財源の中には、基金(預貯金)の取崩しが1億2千万円、前年度繰越金が約12億1千万円含まれ、町税などの自主財源は27億2千万円と、全体の16.7%にとどまっています。また、依存財源のなかで最も多額なのが地方交付税で、歳入全体の39.3%を占めています。



# 決算

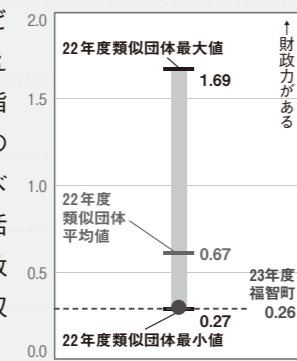
平成23年度まちの財政通信簿

平成23年度決算がまとまりました。歳出決算額は約148億円で、実質収支は約13億円の黒字でした。前年度の町のお金と財産の現状、今後の課題をみなさんの目でチェックしていきましょう。

## 財政力指数

最低水準の財政力

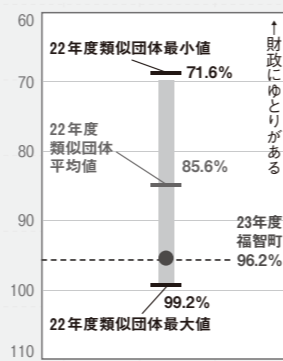
基準財政収入額を基準財政需要額で割った過去3年間の平均値が「財政力指数」です。指数が高いほど自力があり、指数が低いほど国への依存が低いといえます。福智町の財政力指数は22年度類似団体の最小値で、全国最低レベル。今後、地場産業の活性化、企業誘致など財政基盤の強化により、税収入の確保が必要です。



## 経常収支比率

昨年度より3.1%上昇し超危険ライン

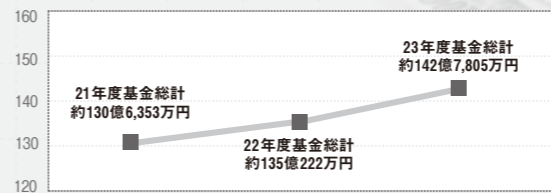
家計に例えると、住居費や光熱水費、ローンの返済などのような、毎月確実に支出される経費に対する、給料などのような毎月決まって得られる収入の割合を表した数値です。本年度は96.2%と前年度より3.1%上昇し、さらに22年度類似団体数値を10.6%と大幅に上回っており、依然として財政構造の硬直化が顕著に現れています。



## 基金(普通会計)

町の貯金残高は約142億8千万円

法律や条例に基づいて設置される「基金」は、特定の目的のために活用できます。普通会計では24の基金があり、23年度末の残高は約142億8千万円です。23年度は後年度の計画的な公債費の償還財源として、減債基金へ7億6千万円を積立てたことなどにより、対前年度比で、約7億8千万円の増額となっています。





# 税のお知らせ

税金は、医療や教育の充実、道路整備など、暮らしを豊かにする大切な財源です。お忘れのないよう、納期限までに納めてください。

問 税務課 収納対策係 ☎ 22-7762

TAX news & information



## 税金滞納 差押えた財産を公売

公売とは、税の滞納者から差押えた財産を入札等の方法で売却することです。町では、税負担の公平性を保つため、また、町税収納強化の一環として、期間入札および不動産公売を実施します。どなたでも参加できますので、ぜひお気軽にご参加ください。

※ 落札代金は、滞納町税に充てられます。



昨年、筑豊地区合同で開催した公売会の様子。

### 【福智町・糸田町合同期間入札】

→ 両町が協力して公売会を開催するのは今回が初めて。ぜひ、足をお運びください。

入札期間 ▶ 12月17日(日)～19日(火)

※ 各8時30分～17時まで

開札日 ▶ 12月21日(金)

公売物件 ▶ 陶器や掛け軸など

入札場所 ▶ 福智町役場1階税務課・糸田町役場1階税務課

公売会の下見 ▶ 12月14日(金)まで

※ 福智町・糸田町役場で9時～17時まで下見可能(土日を除く)。

今回の期間入札は、福智町と糸田町の合同で行うため、福智、糸田、いずれの公売物件であっても、いずれの役場でも入札できます。ただし、物件をご覧になりたい場合は、福智町の物件は福智町役場でしか、糸田町の物件は糸田町役場でしかご覧になれません。

問 福智町役場 税務課 収納対策係 ☎ 22-7762  
糸田町役場 税務課 債権対策班 ☎ 26-4040

### 【不動産公売】

→ 滞納者が完納した場合は中止となりますので、ご注意ください。

町では、税金滞納により差押えた不動産を期日入札で公売します。期日入札とは、定められた公売の日時・場所で、入札書に記入・提出する方法で行われる入札です。なお、公売物件や公売手続きに関する詳細は、ホームページ (<http://www.town.fukuchi.lg.jp/>) をご覧いただくか、税務課までお問い合わせください。

入札日時 ▶ 12月7日(金)

入札場所 ▶ 福智町役場 税務課

公売物件 ▶ 不動産

公売方法 ▶ 期日入札

公売物件下見 ▶ 12月5日(水)まで(予定)

入札に必要な物 ▶ 印鑑、入札保証金、代理人の場合は委任状



### 【延滞金と督促手数料】

→ 納期限内納付にご協力ください。

#### ① 滞納すると高率の延滞金

滞納すると、期限をきちんと守って納税している人との公平性を保つため、本税とは別に、納付期限の翌日から納付の日までの日数に応じて高率の延滞金がかかります。

#### ② 督促状が届いたら手数料

納付期限を過ぎても納付しない場合は、督促状が送付されます。延滞金も督促手数料も期限までに完納すれば、払わなくて済むものです。期限を守って納税しましょう。

# 国民健康保険のお知らせ

国民健康保険税は、国民健康保険の被保険者がいる世帯に対し、世帯主を納税義務者として課税されます。

問 住民課 保険係 ☎ 22-7761

Health insurance news & information

### ① 医療費通知関係

国民健康保険(以下「国保」と省略)をはじめとする公的医療保険では、医療機関を受診した際、窓口で医療費の一部を支払うだけで医療を受けることができるため、医療費の総額が分かりにくくなっています。そこで、町では、医療費負担の仕組みや健康について理解を深めていただくことを目的に、2か月ごとに「医療費通知」を各世帯に送付しています。医療費通知をご覧いただき、受診状況を踏まえて、健康な体づくりや病気の早期発見・早期治療を心がけてください。また、

国保加入者の医療費は、皆さんが納める保険税と国・県からの交付金などでまかなわれています。医療費通知の内容を参考に、国保事業の健全な運営にご協力ください。

### ② 領収書関係

平成18年から、医療機関や薬局は、医療費の内容が分かる領収書を発行しています。領収書は、皆さんが医療費を支払った大切な証拠書類であり、「高額療養費の請求」や確定申告で「医療費控除」の添付資料として必要になります。大切に保管しましょう。



### 医療費の自己負担額が高額になった人

→ 限度額を超えた分が高額療養費として支給



同一の医療機関等に支払った自己負担(院外処方を含む)は、上限額を超えないうちでも同じ月の複数の医療機関等における自己負担(70歳未満の場合は21,000円以上であることが必要)を合算することができます。

#### 【70歳未満の自己負担限度額(月額)】

所得区分	3回目まで	4回目以降 <sup>注1</sup>
上位所得者 (月収53万円以上など)	150,000円 + (医療費 - 500,000) × 1%	83,400円
一般	80,100円 + (医療費 - 267,000) × 1%	44,400円
住民税非課税世帯	35,400円	24,600円

! 「限度額適用認定証」を医療機関で提示することで、限度額を超える支払いをする必要がなくなります(70歳以上の現役並み所得者、一般の区分の人は、所得区分の認定証がなくても、自動で窓口の支払いが上限額までになります)。負担が少なく、事後に高額療養費の申請をする手間が省けますので、入院するときや、外来の医療費が高額になるときは、事前に「限度額認定証」の交付申請を行うことをお勧めします。

※ 複数の医療機関で医療費が高額になったときや、多数該当(注1・注2)で限度額の差額が発生しているときは、高額療養費の申請が必要になります。

#### 【70歳以上75歳未満の自己負担限度額(月額)】

所得区分	外来(個人単位) A	外来 + 入院(世帯単位) B
現役並み所得者 (窓口3割負担)	44,400円	注2 80,100円 + (医療費 - 267,000) × 1%
一般	12,000円	44,400円
低所得Ⅱ	8,000円	24,600円
低所得Ⅰ		15,000円

(注1) 直近の12か月間に、既に3回以上高額療養費の支給を受けている場合(多数該当)には、その月の負担の上限額が引き下がります。

(注2) 現役並み所得者の方は、直近の12か月間に、既に3回以上Bの限度額で高額療養費の支給を受けている場合(多数該当)には、その月の負担の上限額が44,400円に引き下がります。

#### ! 高額療養費の申請に必要なもの

- ・国民健康保険証
- ・医療機関で支払った領収書
- ・認め印
- ・世帯主義の通帳

※ 支給までには、受診した月から少なくとも3か月程度かかります。高額療養費の計算は、申請後、レセプト(医療機関から国民健康保険へ提出する診療報酬の請求書)の審査確定後に行われます。レセプトの確定までには一定の時間がかかりますので、ご理解ください。

※ 福智町の国民健康保険税に滞納のある世帯の高額療養費については、税に充てさせていただきます。協議が必要となりますので、ご了承ください。



### Population 人のうごき (福智町の人口)

●人口 24,709人  
前月比-19人  
前年比-250人

●男性 11,680人  
●女性 13,029人

●世帯 11,201世帯  
前月比+2世帯  
前年比+6世帯

※平成24年10月末現在(住民基本台帳人口)

お亡くなりになったみなさんのご冥福を、心よりお祈り申し上げます。福智町長・福智町議会議長  
☎ 090-7169-2882

### Tax おさめて安心 (税の納期限)

●国保税 [6期] 12月25日 〆が納期限です  
●固定資産税 [4期] 12月25日 〆が納期限です

### Event テクホー net (近隣の催し)

【大任町】世界一の門松でまちおこし  
12月10日(日)～1月27日(日)  
(道の駅おおとう桜街道もみじ館前)  
「平成石炭門松」が今年も道の駅おおとう桜街道に設置されます。  
☎ 090-7169-2882

一平成の年度と同じ段数で制作され、飾りは各小学校や支援学校の生徒たちが作成します。ぜひご覧ください。

【川崎町】ニューイヤーコンサート  
1月5日(日) 18:00～開場/18:30～開演  
(川崎町勤労青少年ホーム) 入場無料  
新年の幕開けに、心安らくクラシックコンサートはいかがでしょうか?弦楽五重奏にパーカッションを加えた演奏をお楽しみください。  
☎ 72-3000

### Medical health 保健の掲示板

12月16日から1月15日までの保健事業日程

- 12月19日(木)【7～8か月児健診】  
7～8か月児を対象(個人通知します)  
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:00～14:00
- 12月19日(木)【乳幼児相談】  
2か月児と、身体計測や育児相談などの希望者を対象  
[会場] コスモス保健センター [受付] 14:30～15:00
- 1月9日(木)【3歳児健診】  
3歳～3歳1か月を対象(個人通知します)  
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:00～14:00

☎ コスモス保健センター ☎ 28-9500

### News Of Vaccine

【接種期間をご確認ください】  
MR (麻しん風しん混合ワクチン) の  
予防接種を受けましょう!

麻しん・風しんの予防接種回数は、以前は1回だけでしたが、追加免疫を受ける機会が少ないと免疫は発病を阻止できないレベルまで低下してしまうため、平成18年4月から2回接種となりました。1回しか接種していない年長児層にも2回の接種を行うために、平成20年度から平成24年度の5年間、中学1年生に相当する年齢と高校3年生に相当する年齢の人に接種することとなりました。

対象年齢を超過して接種する場合は有料です。高校・大学入学時や専門学校実習時などに学校から接種歴の確認をされる場合がありますので、対象期間内に無料で接種しておくことをお勧めします。

対象  
第1期：生後12か月～24か月に至るまでの間  
第2期：平成18年4月2日～平成19年4月1日生  
第3期：平成11年4月2日～平成12年4月1日生  
第4期：平成6年4月2日～平成7年4月1日生

接種期間および接種費用  
第1期：1歳の誕生日の前日から2歳の誕生日の前日まで  
第2～4期：平成25年3月31日まで  
※接種費用は無料ですが上記の期間を過ぎると有料になります。  
なるべく早めに受けましょう。

接種場所  
「平成24年度福智町母子保健行事予定表」で協力医療機関をご確認の上、直接医療機関に予約してください。  
☎ コスモス保健センター ☎ 28-9500

# 小規模特認校 弁城小学校で いっしょに学ぼう!

来年4月から弁城小学校は小規模特認校となります。『確かな学力、健やかな体、豊かな心を育む』を目指す弁城小学校で、お子さんを「自立できる子」に育ててみませんか?

## 小規模特認校って?

福智町に住所があれば、校区に関係なく弁城小学校に入学・転入できる制度です。豊かな自然と少人数教育の特徴を活かし、子どもたちと学校と地域が協力して、豊かな人間性を培うとともに、きめ細やかな教育を行います。

## 弁城小の特徴は?

弁城小学校は、町内でも特に豊かな自然に囲まれ、自然学習や体験学習の場と最適とされ、子どもたちのびのびとした教育が実現できます。さらに、現在児童数が59人に対して教員数が12人です。教員一人当たりの児童数は約5人となり、全ての子どもたちに目が行き届いた教育が可能です。

## おちついた環境で、一人ひとりに学力を育成します。

- 毎日の活動
- 自分の考えを持つ→書く→発表
- 専科、交換授業(いろんな先生に学べる)
- 基礎の力をつける活動
- 補充学習
- 読書タイム
- 活用する活動「弁城っ子まつり」

## 「自立」

できる子を育てます

- 仲間を大切に、思いやりのある子を育成します。
- 縦割りグループによる活動
- 運動会
- 七夕集会
- 歓迎集会
- 室内パワーアップ
- 大縄大会
- 6年生を送る会
- 水泳大会
- 地域の人との交流活動
- 米作り
- 芋作り

## 体力をつけ、がんばる力を育成します。

- 日常的な活動
- 7分間走(週3回)
- ※本校独自のカリキュラムです。
- スポーツの活動
- 運動会
- 水泳大会
- 鍛錬遠足
- マラソン大会

この他にも4～6年生は3泊4日の宿泊学習などの行事がたくさんあります。興味がある人やもっと詳しく聞きたい人は、お気軽にご連絡ください。  
☎ 弁城小学校教頭(堀田) ☎ 22-0129  
☎ 福智町教育委員会 ☎ 28-2119



pick up 環境衛生係からお知らせ

【ごみ・し尿・犬猫の引き取り業務】  
年末年始の休業日にご注意を!

年末年始は、ごみの収集日が変更になり、また、ごみ・し尿収集業務、野犬捕獲および飼い犬と飼い猫の引き取りが次の期間休業します。みなさんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



◎ごみの収集日の変更について

**資源いみ** 1月2日(日)の資源ごみの可燃物と不燃物【緑の袋・青のシール・無色の袋・青の袋】の毎月第1水曜日収集地区は、**12月29日(日)**に変更します。

**燃えいみ** 1月3日(日)の燃えるごみ【赤の袋】の毎週月・日収集地区は、**1月5日(日)**に変更します。

◎年末年始の休業期間について

▶ごみ収集休業期間  
**12月31日(日)～1月3日(日)**  
※清掃センターへの直接搬入は29日(日)まで。

▶野犬捕獲休業期間  
**12月20日(日)～1月3日(日)**

▶飼い犬・猫の引き取り休業期間  
**12月27日(日)～1月8日(日)**

▶し尿収集休業期間  
かいた環境開発工業 ☎28-3377  
**12月30日(日)～1月3日(日)**  
吉田環境整備 ☎22-0221  
**12月30日(日)～1月4日(日)**  
筑豊衛生環境 ☎22-1054  
**12月30日(日)～1月4日(日)**

☎ 役場住民課 環境衛生係 ☎22-7761

**自衛官採用試験**  
自衛隊の高等工科学校生徒を募集します。応募資格は中卒の男子で17歳未

**県営住宅入居者募集(ポイント方式)**  
県内に所在する県営住宅の入居者を募集します。募集対象団地・募集戸数についてはお問い合わせください。  
受付期間 1月10日(日)～1月21日(日)  
募集案内配布場所 役場住宅課  
☎ 県営住宅供給公社県営住宅管理部 ☎092-781-8009



**子育て支援センター行事**  
就学前の親子が対象です。気軽に参加してみませんか。全て10時30分開始。  
①親子リズム遊び 12月7日(日)

**みんなでおしゃべり会**  
子育てについて一人で悩まず、おしゃべり会に参加しませんか。  
日時 12月13日(日)10時～12時  
場所 コスモス保健センター会議室1  
☎ 子育てアドバイザー 岸谷さん ☎090-7380-4558

**補聴器相談**  
①日時 12月10日(日)13時～14時  
場所 福智町役場方城支所  
②日時 12月10日(日)15時～16時  
場所 福智町役場赤池支所  
③日時 12月14日(日)9時～10時  
場所 福智町役場本庁舎  
☎ 役場福祉課 ☎22-7763

**心配ごと相談**  
12月15日(日)は司法書士による特別相談を実施します。特別相談は事前予約が必要。相談は無料です。  
①日時 12月13日(日)10時～15時  
場所 福智町公民館方城分館  
②日時 12月15日(日)10時～15時  
場所 金田社会福祉センター  
③日時 1月10日(日)10時～15時  
場所 福智町役場赤池支所  
☎ 社会福祉協議会 ☎22-6631

**公民館図書室の年末年始の休室**  
中央公民館(赤池)図書室と金田分館図書室、方城分館図書室を12月28日(日)から1月7日(日)まで休室します。  
☎ 中央公民館 ☎28-4100

**田川高等技術専門学校訓練生募集**  
来年3月に中学校・高等学校を卒業する人を対象に訓練生を募集します。  
訓練科目 電気工学科、自動車整備科、木工家具科、左官科、OA事務科  
募集締切 1月18日(日)  
☎ 田川高等技術専門学校 ☎44-1676

**労働トラブル110番**  
賃金未払い、サービス残業、解雇や職場内のセクハラなど、労働をめぐるトラブルの相談に司法書士が応じます。  
日時 12月8日(日)10時～16時  
方法 電話相談(無料)  
☎ 福岡県司法書士会事務局 ☎092-7227-4131  
☎ 092-7227-4131

**猫を飼育している人へ**  
最近、猫に関するトラブルが増えています。猫に、庭や家屋を荒らされた鳴き声がうるさい、フンや尿で汚された、ゴミを荒らすなどの苦情があります。猫の飼い主は、近所とのトラブルをなくすためにも無責任な放し飼いはやめて、責任ある飼育をお願いします。  
☎ 役場住民課 ☎22-7761

**忘年会・新年会は「浪漫号」で**  
平成筑豊鉄道のレトロ調車両「へいちく浪漫号」を貸し切って、忘年会・新年会をしませんか。カラオケ、DVDは無料。  
貸切料金 一両3時間6万円(税込)  
乗車人員 一両あたり41人  
※食事・飲み物などは持ち込み  
☎ 平成筑豊鉄道 ☎22-10000

**田川地区急患センターの診療日**  
田川地区急患センターの年末年始の診療日は次のとおりです。  
診療日 12月31日(日)～1月3日(日)  
診療科目・診療時間  
内科・小児科 9時～12時・13時～17時  
18時～23時  
外科 9時～12時・13時～17時  
※保険証(乳幼児医療証)を忘れずに  
☎ 田川地区急患センター ☎45-7199

**田川地区急患センターの診療日**  
田川地区急患センターの年末年始の診療日は次のとおりです。  
診療日 12月31日(日)～1月3日(日)  
診療科目・診療時間  
内科・小児科 9時～12時・13時～17時  
18時～23時  
外科 9時～12時・13時～17時  
※保険証(乳幼児医療証)を忘れずに  
☎ 田川地区急患センター ☎45-7199

**障害者職業訓練生募集**  
北九州市若松区の福岡障害者職業能力開発校では、平成25年度の訓練生を募集しています。  
募集人員 150人  
訓練期間 1年間  
受付締切 1月8日(日)  
☎ 福岡障害者職業能力開発校 ☎093-741-5431

**田川地区斎場のお正月休みについて**  
田川地区斎場は1月1日(日)のみが休みとなりますので、ご注意ください。  
☎ 田川地区斎場組合 ☎42-8002

**ひらばる幼稚園児募集**  
対象 3歳児～60人 4～5歳児 若干名  
(未就児クラスあり)  
保育時間 9時～14時30分

**田川地区急患センターの診療日**  
田川地区急患センターの年末年始の診療日は次のとおりです。  
診療日 12月31日(日)～1月3日(日)  
診療科目・診療時間  
内科・小児科 9時～12時・13時～17時  
18時～23時  
外科 9時～12時・13時～17時  
※保険証(乳幼児医療証)を忘れずに  
☎ 田川地区急患センター ☎45-7199

**農業用軽油免税申請の続き**  
農業を営む人がトラクターなどに使用する軽油については、本人の申請により、軽油引取税が免除される「免許証」が付されます。免許証の交付には、必ず申請が必要ですので、12月末までに「免税証交付申請書」と「耕作証明書」を、飯塚直方県税事務所まで郵送してください。免許証の交付日や必要書類など、詳しくはお問い合わせください。  
☎ 福岡県飯塚・直方県税事務所関税係 ☎0948-21-4905

**養育費の電話相談**  
母子父子家庭または離婚協議中の人を対象に、養育費に関する電話相談業務を実施しています。  
相談対応時間 9時～16時(平日)  
相談電話 ☎0948-21-0390  
☎ 県母子家庭等就業・自立支援センター ☎0948-21-0390

**認知症講演会**  
日時 12月17日(日)14時～16時  
場所 田川市中央公民館講堂  
内容 「認知症の理解とケア」について  
見立病院の梅野一男先生が講演  
☎ 田川保健福祉事務所 ☎42-9307

**お詫びと訂正**  
広報紙11月号「ふくたま」の中で、掲載した名前に誤りがございました。この場を借りて、お詫びして訂正いたします。  
誤：折斗楓くん  
正：折戸楓くん  
☎ 役場総務課 ☎22-0555

**工業統計調査にご協力を**  
製造事業所を対象とした「平成24年工業統計調査」が行われます。12月から来年1月にかけて調査員が伺いますので、正確なご記入にご協力をお願いします。  
調査基準日 12月31日(日)  
☎ 役場まちづくり総合政策課 ☎22-7766

**人権週間講演会(県主催分)**  
人権週間にもない、県主催の講演会を開催します。  
日時 12月8日(日)12時25分開会  
場所 春日市クローバープラザ  
内容 林田アサさんの講演会等  
☎ 福岡県人権啓発情報センター ☎092-584-1271

**預かり保育** 7時40分～18時  
※土曜日・長期休暇も実施します。  
給食 週4回(日は弁当)  
保育料 1万6千500円  
※補助金あり・第3子は保育料無料  
※途中入園もできますので、お気軽にご連絡ください。  
☎ ひらばる幼稚園 ☎22-5622

**養育費の電話相談**  
母子父子家庭または離婚協議中の人を対象に、養育費に関する電話相談業務を実施しています。  
相談対応時間 9時～16時(平日)  
相談電話 ☎0948-21-0390  
☎ 県母子家庭等就業・自立支援センター ☎0948-21-0390

**養育費の電話相談**  
母子父子家庭または離婚協議中の人を対象に、養育費に関する電話相談業務を実施しています。  
相談対応時間 9時～16時(平日)  
相談電話 ☎0948-21-0390  
☎ 県母子家庭等就業・自立支援センター ☎0948-21-0390

**養育費の電話相談**  
母子父子家庭または離婚協議中の人を対象に、養育費に関する電話相談業務を実施しています。  
相談対応時間 9時～16時(平日)  
相談電話 ☎0948-21-0390  
☎ 県母子家庭等就業・自立支援センター ☎0948-21-0390



# 四季の歌

俳句・短歌教室の詠歌紹介

ともしび短歌会詠草

彼岸花あかき上衣を羽織りたる過路の列か棚田の畦に住所録よりはらりと落つる年賀状筆跡美し亡き人の顯つ時雨降る優しく花に触るごと花びら浄めてやむともみえず午後八時利尻の夜の満天の星を仰ぎて歓声あぐる張られたる蜘蛛の糸だに絹糸の光沢にかがやく秋陽あそばせよちよちと這ひ来て「だっ」と言ひるし孫やがて成人の日をむかえむとすゆくりなく外科医の歌に出合いけり向きあう生命のすさまじきこと西空の淡き満月背にうけて露玉こぼす枝豆を採る

白石 清和  
八代 範夫  
白石 信子  
前田 信子  
福田キヨ子  
越智 早苗  
三村 和子  
高村 三也

はな・露の臺句会

池田一歩選

深秋や六字名号軸を掛け  
花石路に案内をされて野草苑  
釣人と一会の会話秋うらら、  
犀川は英彦の支流や蘆の花  
陽の匂ひ残る蒲団に寝息たて  
道標は昔村の名鴨飛来  
枯菊を焼きて回顧の日でありし  
感動は言葉にならず照紅葉  
立冬の日差し背に受け朝散歩  
秋しぐれもたらす景色園の庭

日高八重子  
松本 三男  
山本ひろし  
香月 眸  
高津 澄子  
熊谷カツミ  
本島真知子  
桑野 園女  
井上タミ子  
永末 公恵

福智町金田公民館俳句教室

岩井鬼童選

蓼虫の風揺りかごの眠りかな  
鷹渡る平家滅びし海峡を  
秋晴も乗せて観光人力車  
柿の渋ぬけていくよな日和かな  
行きゆきて花野の果ての山頭火  
僧の背の色なき風に忌を修す  
芒野に風音生まれそして消ゆ  
膝痛し夜長の無聊いかにせん  
月今宵生きてる日の米を研ぐ  
稲架組むや黄金の風を孕みつつ

建部三由紀  
長副美恵子  
西田 真美  
松岡 蒿枝  
仲谷ひろえ  
今井三千代  
山本 空木  
小川 雪  
加藤きみ子  
日比生利子

方城句会

池田一歩選

厨窓晩秋の雲流れけり  
木犀の香に誘われ回り道  
白波の起伏しずめて神渡  
埋火や晩闇の朝影に  
老桜の紅葉陽に映へ佇みぬ  
法螺響く柝の窟古刹かな  
沢隔て採れぬ通草の熟れてをり  
柿紅葉懇親の膳彩りぬ  
尻のやや色づき始む青蜜柑

藤井耿之介  
渡邊 一枝  
尾崎 和子  
木村 誠一  
倉石嘉代子  
白石 凡子  
杉 フジエ  
長尾 冴子  
長末 耕一

## 福智の風

▶「有名観光地には一度は訪れたいと思いますが、それだけではライターを獲得できません。大事なのは人と人のつながりです」と、断言した藤原さん(P.4)。私とのつながりは取材時間の約30分でしたが、1週間後に直筆の絵手紙をいただいた。忙しさを言い訳に、何もしなかった自分に恥ずかしさを覚えると共に今後の行動を改めたいと思った。(久原)

▶以前「食欲の秋」宣言をしました。今秋は本当によく食べました。取材に向うたびに秋の味覚が私を手招きし、思わずパクパク。気付けば体重が〇kg増え、久しぶりに会った友人には「あれ？」と言われることもしばしば。「摂生を」と考えるも、目前には鍋が恋しくなる季節。自制しなきゃと思いつつ、冬の味覚が楽しみでなりません。(相原)

写真が語る 写真館  
なみの写真館

旧金田駅から関西へ出発  
提供者●植田 辰夫さん  
撮影日●昭和35年

当時の修学旅行は、片道が半日以上かかり、一苦労。現在は移動手段が変わり、時間も大幅に短縮されました。ただ、出発前の期待と緊張の交じった表情は、今も昔も変わりません。

昔の写真を探しています！  
☎ 22-0555

## Pickup Topics



1 親子で楽しめる多様な作品が集まった展示会場。2 本格的なお茶席。3 お茶席で憩いの一服。4 重厚な雰囲気漂う謡曲・仕舞の舞台。5 日舞・民謡では日々磨いた演舞で観客を魅了。6 盤上で実力者たちが熱き頭脳戦を展開。7 手作りの年賀状が作れる体験コーナー。8 自慢のノドを披露した歌謡・詩吟の出演者。9 美声を響かせたふれあいコンサート。

## Pickup Topics



# 感性に響く文化の祭典

10月28日から一か月に渡って開催された福智町文化祭。各会場で繰り広げられた町のアーティストたちの発表は、紅葉が彩る福智山とともに、訪れた人の心を大きな感動で包み込みました。その様子を写真でお届けします。

10月28日から11月25日までの一か月間、福智のアーティストたちが磨き抜いた技や表現を披露しました。

まずスタートを切ったのは、10月28日に同対策研修センターで行われた「歌謡・詩吟発表会」。出演者たちは持ち歌を朗々と披露し、自慢のノドを会場に響かせました。11月3日・4日は、金田体育館で3千116点もの作品が一堂に集った「作品展示」。創造者の感性が来場者の足を引き止め、感動の声と共にそれぞれの世界へと引き込みました。

10日から18日にかけて、地域交流センターやコスモス保健センターで「芸能発表会」が行われました。卓越した身のこなしや演奏を披露し、演目が終わるたびに観客から鳴りやまない拍手と歓声を受けました。中央公民館で行われた「開幕大会」は盤上で静かな熱戦を展開。そして、最終日となった25日の「ふれあいコンサート」では、出演者たちのハーモニーが地域交流センターを癒やしの美声で包み込みました。

5週に渡って繰り広げられた福智町文化祭は、芸術の秋と見事に融合。来場者の心を大きな感動で包み込みました。

絵画や書、生け花、手芸、伝統的工芸品の山野焼などがズラリと並んだ展示会場には、2日間で延べ3千人が来場。子どもから大人まで、作品の魅力に身も心も引き込まれていました。



**肌** 上野小学校音楽鑑賞講座  
で感じた本物の音楽

県文化団体連合会主催の芸術鑑賞講座（音楽鑑賞会）が、11月1日に上野小学校で行われました。日本だけでなくアジアやヨーロッパでも活動している「響ホール室内合奏団」が招かれ、モーツァルトやディズニーなど親しみのある名曲の数々を演奏。また、楽器に触れる体験コーナーも用意され、子どもたちにとって本物の芸術に触れる貴重な一日となりました。



↑プロの奏者から楽器の弾き方を教わり、緊張しながらも楽しそうに演奏した4人。

↓本当の意味での「絆」とは何か、自身の経験を踏まえ熱心に語った奥田さん。



**助** 2012年度福智町人権週間講演会  
け合える社会の形成を目指して

11月15日に地域交流センターで人権週間講演会が開催されました。キリスト教会の牧師で、ホームレス支援機構理事長を務める奥田知志さんを講師に招き、「絆」をテーマに講演。奥田さんは、ホームレスや東日本大震災の被災者への支援を行う中で気付いたことや感じたことを話し、最後に「互いが『助けて』と言える、支え合う社会を築きたい」と力強く語りました。

↓ソバの花が一面に咲き誇り、天気にも恵まれ、絶好の撮影日和となった会場。



**福** ソバの花フェスタ 2012  
智産のソバを舌と目で味わった一日

福智町農業総合プロジェクト主催の「ソバの花フェスタ」が10月21日に上弁城公民館付近で行われました。福智産のそば粉を使用した「手打ちソバ」や「そば饅頭」を求めて、会場は長蛇の列ができるほどの大盛況。同時開催のソバの花写真コンテストや、特設ステージではダンスや歌謡ショーなどが披露され、今年で12回目を迎えるフェスタに花を添えました。

**異** 福智町日韓交流事業  
文化交流で国際感覚を身に付ける

上野焼の開祖・尊楷ゆかりの地である韓国泗川市の子どもたちと交流し、国際的感覚を養うことを目的とした「福智町日韓交流事業」。この事業で、町内の小学5・6年生22人が10月6日から2泊3日の行程で、韓国を訪問しました。参加者は泗川市の子どもたちと一緒に友好記念碑や九龍窯などを見学し、ジェスチャーを交えながら、異文化交流を楽しみました。



↑韓国で友情を育み、瞬間に過ぎた3日間。最後は涙ながらの別れとなりました。

↓一人でも多くの人に人権の輪が広がるよう、ひまわりの種と子どもたちの思いを乗せ、大空へと舞ったエコ風船。



**思** 金田小学校で人権教室開催  
いやりの心を風船にのせて

「人権の花運動」の本年度指定校となっている金田小学校で、11月9日に田川人権擁護委員協議会主催の人権教室が行われました。この活動は、昭和57年から全国で実施されている運動で、花の生育を通して、命の大切さや思いやりを学ぶことが目的です。来校した人権キャラクターの「人KENまもるくん・あゆみちゃん」と一緒に、手作り紙芝居で人の尊厳について学習。最後に子どもたちが栽培したひまわりの種と手書きのメッセージを添えた「エコ風船」を飛ばし、人権への意識を高めた一日となりました。

平成24年度福智町敬老会  
**長** 年の地域貢献に感謝して

長年、地域のために尽力したお年寄りの功績に感謝し、長寿と健康を祝う敬老会が10月16日の方城地区を幕開けに、23日に金田地区、30日に赤池地区で開催されました。町内在住の70歳以上の方が対象で、今年は3会場合わせて1,065人が出席。それぞれの会場で、久しぶりに顔を合わせた友人や同級生らと、これまでの健康への喜びを分かち合っていました。



↑簡単にできるエクササイズなど、趣向を凝らした出し物で盛り上がった会場。(方城)

↓子どもたちの笑顔誘う、約1haの畑一面に絨毯のように咲いた満開のコスモス。



今年も現れた白とピンクの美しい絨毯  
コスモスフェスタ2012

10月23日に弁城迫地区で福智町花いっぱい運動の会主催の「コスモスフェスタ2012」が開かれ、町内外から家族連れなど約300人が来場しました。当日は「米のすくい取り」や「枝豆取り」、「サツマイモ掘り」も大好評。代表の稲富廣隆さんは「前代表の故・香月弘美さんのおかげで大成功となった。今後子どもたちの笑顔のために続けたい」と、目を細めていました。





松村 美音ちゃん①  
H23.12.23 生(金田 敷島)



高橋 愛衣ちゃん①  
H23.12.21 生(神崎 星ヶ丘団地)



森川 拓郎くん①  
H23.12.17 生(神崎 南木)



次原 悠斗くん①  
H23.12.14 生(金田 西金田)



大堀 翼くん①  
H23.12.8 生(金田 昭和町)



吉田 優咲ちゃん①  
H23.12.1 生(弁城 松原)

HAPPY BIRTHDAY  
12 月生まれ

Fukutama ぶくち玉手箱

みんなでつくる  
ごきげんなページ“ふくたま”

**1歳~3歳のかわいい笑顔あつまれ**


お子さんの笑顔をお誕生日の記念に紙面に飾ってみませんか。締め切りは、毎月お誕生日の前月10日まで(土・日・祝日の場合は翌開庁日)。今月は1月に誕生日を迎える1歳から3歳までのお子さんの写真を募集します!

**12月10日頃までに役場窓口**でお申し込みください。

※締め切りまでに必ず申し込みをしてください。期限を過ぎると掲載できません。

※デジカメの場合はデータをお持ちください。

▶役場総務課広報担当(本庁3階) ☎ 22-0555




内田 琳ちゃん③  
H21.12.11 生(赤池 伏原)



空閑 心奈ちゃん③  
H21.12.7 生(金田 人見)



松尾 昂志くん②  
H22.12.27 生(伊方 後谷)



浦田 麻莉亜ちゃん②  
H22.12.25 生(上野 大谷)



相原 颯皇くん②  
H22.12.20 生(神崎 南木)



平島 央士くん②  
H22.12.6 生(金田 平原)

### 握る竹刀に力と技と心を込めて

→好成績を収めて胸をはる剣士たち



10月28日に田川市で第40回田川支部剣道大会が行われ、町の剣士たちが好成績を残しました。結果は次の通り。**【男子40代の部】**準優勝: 渡邊喜代信、3位: 中川大蔵、和田祐一 **【男子50代の部】**優勝: 田中浩二、3位: 中山正和 **【男子60代の部】**3位: 勝木勉 **【女子の部】**準優勝: 手島麻唯、3位: 橋高敏江(敬称略)

### 仲間とともに手にした県大会へのキップ

→勝利を自信に変え次のステップへ



11月4日に福岡県ジュニアサッカーU-11の筑豊予選が、飯塚健康の森公園で行われました。この大会に出場したFC金田は、持ち前のスピードをいかして予選を勝ち進み、決勝リーグでも2位につけ、県大会進出が決定。県大会は12月2日に新門司球場で行われます。

### 寒風と応援を背に河川敷を快走

→元気がいっぱい駆け抜けた参加者



町子ども会育成連絡協議会主催のふれあいマラソン大会が、11月18日に彦山川・中元寺川合流点河川敷で行われました。町内の小中学生89人が参加し、学年や男女に分かれて競争。小さなランナーたちは、息を切らしながら一心にゴールを目指し、爽やかな汗を流しました。

### おすもうさんはとっても力持ち

→ワクワクしながら順番を待つ園児



11月8日に第一保育所(弁城)で恒例のもちつき大会が行われました。佐渡ヶ嶽部屋から琴乃島力士と琴翼力士が参加し、園児や地域住民と交流。両力士は軽快なもちつきの音を会場に響かせながら、子どもたちと一緒に約45kgのもち米をアツという間につき上げました。

### 愛情たっぷりのパプリカ育つ

→色とりどりのパプリカと浦中さん



浦中孝一さん(赤池)の畑で、パプリカが大量に育ちました。一日に7時間以上も畑作業をしている浦中さんは、虫も雑草も全てピンセットでとり、愛情を込めて野菜を生育。浦中さんの愛情に答えたパプリカは、2畳ほどの畑に多い時には200個も色鮮やかな実をつけました。

### みんなで食べるおイモはおいしいね

→収穫した後みんなで並んで会食



10月18日に弁城新町地区の畑で弁城小14人、第一保育所11人、地域の敬老会8人による、3世代合同芋掘り会が行われました。世代間の交流が目的で、今年初めて実施。地域からの寄付で春に植えられた苗はすくすくと育ち、この日約70kgの芋が収穫されました。

### 親子で感動した夢の一夜

→笑いと涙を誘う感動のストーリー



福智町青少年育成町会議主催の「親子で楽しむ夕べ」が、10月4日に同和対策研修センターで行われました。今年是人形劇「ファンタジア」が、「水くみハンス」など心温まる2作品を披露。人形とは思えない動きと感動的な物語に、参加した300人の親子は心を奪われていました。

### こんなに大きく育ったよ

→一生懸命育てた成果に笑顔の園児



金田保育園のちびっこ農園で、10月18日に3~5歳の園児たちが芋の収穫体験を行いました。20年以上も続くこの活動は、苗植えから収穫までを園児たちが行い、自然への感謝と命の尊さを学ぶことが目的。収穫した芋は、給食やおやつの時間に調理して食べました。



対象地区名	開催日程	開催会場
金田2区	12月3日 日	金田2区公民館
金田10区		
神崎8-1区	12月4日 火	神崎4区公民館
神崎8-2区		
弁城3区	12月10日 日	久六集会所
弁城4区		
弁城5区		
上野5区	1月7日 日	大浦隣保館
赤池18区	1月8日 火	中央公民館
赤池21区		
赤池28区		
金田3区	1月15日 火	金田3区集会所
金田4区		
伊方14区	1月21日 日	中原集会所
伊方38区		
伊方15区		
伊方16区		
弁城6区	1月22日 火	宝珠集会所
弁城7区		
弁城8区		
弁城9区		
赤池15区	1月28日 日	赤池16区集会所
赤池16区		
赤池17区		
赤池22区	1月29日 火	赤池22区集会所
赤池23区		
赤池24区		

※ 開始時間はすべて19時からです。

※ 日程や開催場所などが変更になる場合があります。

## まちづくり懇談会「タウンミーティング」開催

# 聞かせてください、皆さんの生の声を。

住民の皆さんの意見を町政に反映させるため、町長が地域に出向き、直接住民の皆さんと対話や意見交換を行う『タウンミーティング』を、町内30か所で3月上旬（予定）まで行います。これからの町に「何が必要なのか」「何ができるのか」「その実現のためにはどうすればいいのか」を一緒に考えませんか。開催日は各地域で異なりますが、どの会場に参加してもかまいません。開催地区は順次広報紙でお知らせします。

福智町役場 総務課 ☎ 22-0555

12月、1月の地区は左記のとおりです。  
未掲載地区は次号以降の広報紙で  
順次、お知らせいたします。



### 町長日誌

▼さる10月17日・18日の2日間にわたり、北海道協会総会が北海道旭川市で開催された。北海道を訪れるのは初めてだったが、わたしもその総会に出席をして、水道に関する全国各地の事例に接することができた。会場となった旭川市は北海道中部に位置し、人口約35万人の北海道第2の都市として、更に鉄道交通の要地として発展を遂げている市でもある▼少し横道にそれるが、学生時代同じクラスに旭川出身の友人がいて、冬季の寒さは殊の外厳しいということを聞いていた。その話の通り、まだ10月の半ば過ぎだということに、渡道2日目には小雪がちらつく天気となり、九州とは異なる寒さを実感したものである▼しかし、何よりも感動したのは、路上にゴミや空き缶などが捨てられていないことだった。2泊したホテルの周辺を、両日もコースを変えて90分ほど歩いてみたが、通りに空き缶はおろかタバコの吸殻さえ目にすることはなかったのである。また、通常は飲料等の自販機横に据えられている回収ボックスが設置されておらず、旭川駅まで行って、やっと空のペットボトルを捨てることのできたが、正直これにはビックリした。恐らく、環境問題に対する意識が市民の間に浸透していて、まちの美化につながっているものと思われる▼翻って、わが福智町はどうだろうか。田畑に空き缶などが投げ捨てられて、本当に困っているという農家の人の苦情が、たびたび寄せられている現状を考えると、一日も早い公衆マナーの確立に向け、町民のみなさんの協力を求めるしかないのである。

浦田 弘二